

平成 28 年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果について (続報)

前回(10月4日)お知らせした本県のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果(本ホームページ内に掲載)に続き、試験船青鵬丸による漁期前調査等の結果をとりまとめましたのでお知らせいたします。また、本県における初漁日予測も行いましたのでその結果も併せてお知らせします。

青森県における平成 28 年漁期のハタハタ漁獲対象資源

- ・ 資源量は前年漁期をやや下回る 1,375 トンと推定
- ・ 沿岸における漁獲主体は 2 歳魚
- ・ 初漁日*は 12 月 2 日(±2 日)

※初漁日は新深浦町漁協岩崎支所においてその冬最初の水揚げが記録された日。

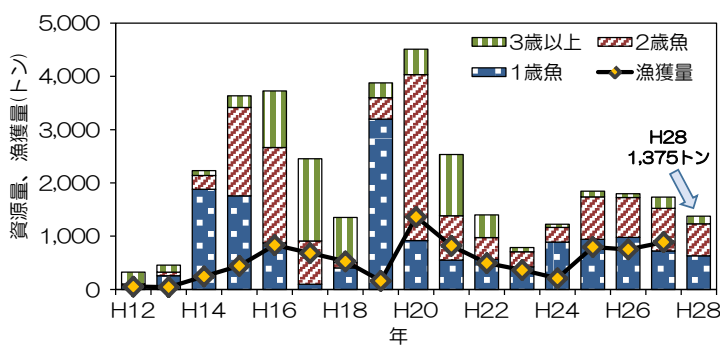


図1 青鵬丸によるハタハタ漁期前調査結果

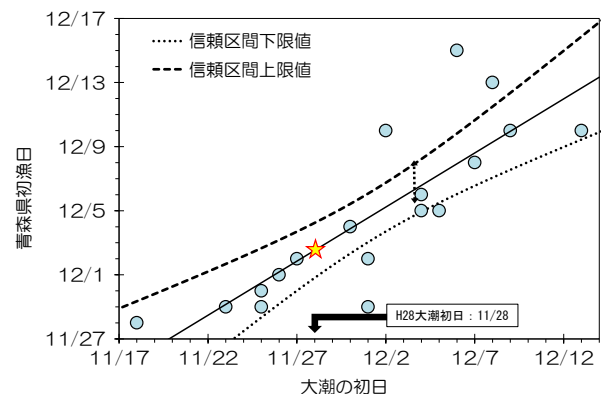


図2 大潮と青森県のハタハタ初漁日との関係

1. 試験船青鵬丸による漁期前調査結果

試験船青鵬丸が平成 28 年 9 月～10 月に行ったオッタートロール調査の結果、本県沖合水深 300m において 体長 14 cm～16 cm の 2 歳魚を主体とする分布が見られた(図 1)。

2. 秋田県における漁獲対象資源量の情報 (秋田県水産振興センターホームページより)

秋田県における平成 28 年漁期の漁獲対象資源量は、2 歳魚が中心で 3 歳魚も比較的多く、3,100 万尾、1,900 トンと推定。これは前年漁期の資源量 2,000 トンよりもやや少ない。

3. 本県における初漁日予測結果

- ・ 初漁日は沿岸水温が 14℃未満に低下した直後の大潮に近い日となる。
- ・ 平成 28 年 11 月 11 日現在、沿岸水温は 15.9℃で平年並み～やや低めに推移している。
- ・ 青森県における平成 28 年漁期の初漁日は、大潮周期との関係から 12 月 2 日(±2 日)と予測された(図 2)。なお、北日本では 11 月下旬以降、寒気等の影響により、平年よりもかなり低い気温となる見通し(2016 年 11 月 17 日、気象庁)であることから、本県の初漁日も予測より早まる可能性がある。